

自己評価報告書

平成23年5月10日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20320110

研究課題名（和文） 「14～20世紀初頭における「朝貢」・「互市」と東アジア世界秩序の変容の研究」

研究課題名（英文） Tribute and Trade in the Formation of World Order : from 14th to early 20th Century East Asia

研究代表者

岩井 茂樹（IWAI SHIGEKI）

京都大学・人文科学研究所・教授

研究者番号：40167276

研究分野：東アジア関係史

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：朝貢 互市 外交 通商 東アジア

1. 研究計画の概要

各研究分担者・協力がこれまでに行ってきた研究を本研究と関連づけて発展させる形での研究を行う。年度の早期に研究分担者・協力者全員が参加する会議を開催し、それぞれの本研究に関わるこれまでの研究について紹介した後で、各自の研究の担当についての詳細な計画を立てる。以後、この計画に基づいて研究を進めていく。

史料収集については、京都大学人文科学研究所の漢籍史料を一つの中心としつつ、国内において入手可能な史料の収集と分析を進める。同時に、海外の関連する史料についての調査を行う。具体的には、中国・北京の第一歴史档案馆および台北の故宫博物院の漢文・満文史料、アメリカの The National Archives・イギリスの The National Archives・ロシアの外務省文書館の欧文外交史料が中心となる。

研究成果の総括として国内と国外において、国際シンポジウムを開催する。国内におけるシンポジウムの際には、事前に準備のための研究会を行って各報告について検討を加え、各報告が密接に関連するものとする。この研究グループ以外の国内の研究者と、国外からの研究者を招き、コメントを求め、議論が学問的・国際的な広がりをもつようにする。

国内でのシンポジウムを行った後、国内におけるシンポジウムの総括を行う会合を開催する。その総括を生かしつつ、一定期間において報告内容に改善を加え、海外におけるシンポジウムの準備を進める。

2. 研究の進捗状況

代表者および研究分担者は、それぞれのテーマについて資料収集と問題の分析をすすめ、

成果の一端をそれぞれ、論文などのかたちで公表した。『日本の対外関係6 近世世界の成熟（吉川弘文館 2010年）』、『東アジア近現代通史 1』（岩波書店 2010年）には、研究代表者および複数の分担者が論考を寄せた。また、この課題にかかわる論文および著書数点を公刊することができた。

また、2010年3月に、関係する他の研究プロジェクトと共催のかたちで、国際シンポジウムを開催し、研究代表者岩井が本研究の成果にもとづいて近世東アジアにおける貿易の自由と国家による統制の実態とそれが当時の国際秩序とどのように関係していたかを明らかにする報告をおこなった。これによって、東アジア研究者にかぎらず、西アジア、アメリカ、ロシアを研究対象とする参加者から意見と評価を得ることができた。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

これらの成果は、朝貢と互市との関係を軸として、各地域の通交制度の相関性および経済・文化における相互影響について、実態に即した見解を提示したものである。従来の「朝貢体制論」は、往々にして超歴史的な中国の華夷観にもとづく国際秩序が朝貢と冊封の制度として実現していたことを強調することにとどまるか、あるいは、華夷観や国家間の儀礼的通交とほとんど関係のない事象まで、朝貢体制にひきつけて理解する傾向が強かった。朝貢という国家間儀礼や、それを利用した王権による貿易独占を乗り越えて拡大した民間主体の互市の広がりに着目することによって、こうした研究の枠組みを再検討することが本研究の目的であった。この目的は十分に達成されつつある。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度はこうした成果を踏まえて、本研究課題が提示した歴史理解について、各方面からレビューを加えて、あらたな研究の基礎とすることを計画している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① 岩井茂樹, 「清代中期の国際交易と海防—信牌問題と南洋海禁案から」, 井上徹編『海域交流と政治権力の対応』(東アジア海域叢書2), 汲古書院, 2011年, pp. 189-218, 査読無
- ② 岩井茂樹, 「朝貢と互市」, 『東アジア近現代通史 1 東アジア世界の近代 一九世紀』岩波書店 2010年 pp. 134-153, 査読無
- ③ 岩井茂樹, 「「華夷変態」後の国際関係」, 日本の対外関係 6 『近世的世界の成熟』吉川弘文館 2010年 pp. 44-68, 査読無
- ④ 岩井茂樹, 「帝国と互市—16-18世紀東アジアの通交」 籠谷直人・脇村孝平編『帝国とネットワーク—長期の19世紀』世界思想社 2009年 pp. 30-59, 査読無
- ⑤ 岩井茂樹, 「广州与长崎 清廷透視中的互市与海外华人」, Evert Groenendijk, Cynthia Viallé, Leonard Bulussé, *Canton and Nagasaki Compared 1730-1830 Dutch, Chinese, Japanese Relations*, Institute for the History of European Expansion, Leiden, 2009, pp.29-43, 査読無

[学会発表] (計1件)

- ① IWAI Shigeki, Freedom and control in international trade of the early-modern East Asia, Institutions and Dynamics of the Pre-Modern Global Trade : Asia and North America in the 18th to 19th Centuries, March 9th-10th, 2010, Kyoto.

[図書] (計2件)

- ① 岡本隆司, 『中国「反日」の源流』, 講談社, 2011年, 250p.
- ② 岡本隆司・川島真編『中国近代外交の胎動』(東京大学出版会、2009年), ix + 211p.

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計0件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]